

2026年度 KAIRIN予備校石橋校 授業内容紹介

学年	講座	内容
高1	石高英語 (槌谷)	学校の教科書、ワークによる予習になります。論理表現とコミュニケーション英語の要点解説と演習になります。全国模試がある週は過去問の解説授業になります。
	石高数学 (西根)	教科書を進む速さはかなりのものです。予習も大切ですが理解がおろそかになってはまずいですから、復習をうまく取り混ぜながら進めていきます。
高2	石高英語 (槌谷)	講義時間の半分は学校の教科書、ワークによる予習になります。論理表現とコミュニケーション英語の要点解説と演習になります。残り時間は全国模試の記述やマーチレベルの文法、長文問題を計画的かつ丁寧に解説していきます。
	石高理系数学 (西根)	教科書を進む速さはかなりのものです。この1年で使用する教科書は数学II, B, C, IIIと4冊に上ります。予習中心の授業となりますが、青チャートなどで復習にも力を入れていきます。
	石高文系数学 (槌谷)	講義の目的は受講生の予習復習の負担を減らすことです。教科書、4-step、青チャート、定期試験の過去問の問題をスラスラ解けるよう基本に忠実に丁寧に説明していきます。全国模試が近づく週は、そちらの過去問を復習として解説していきます。
高3	共通テスト英語 (槌谷)	筆記は過去問や2026～2027年予想問題にて各問題の仕組み(解答根拠に至る流れ)を説明します。リスニングは1～6までを区切りながらポイントの解説演習。また時制～倒置までの文法(並び替えなどの)問題を毎回計画的に確認試験していきます。夏以降は時間を計って8割以上とれるかどうかのシミュレーションをしていきます。
	共通テスト 現代文・古文漢文 (槌谷)(9月から)	過去問や予想問題の演習と補足するべき知識の確認を毎週計画的に行います。難関大学であれば現代文8割、古文漢文7割5部が合格の最低条件になりますので到達していない方をご検討ください。
	2次私大英語 (槌谷)	毎回の講義で語句(準1級レベル)、文法(難関)、精読(難関)の確認試験後、長文解釈を2題演習していきます。7月まではマーチレベル、東京理科大、新潟大、埼玉大の最近の過去問を中心に解説演習します。夏休み以降は早慶上智、筑波、千葉、旧帝大を中心に解説演習します。合格点ギリギリではなく全問正解を目指します。
	共通テスト数学IA (西根)	共通テストのお題目である「思考力・判断力・表現力」に即した問題演習を繰り返すことで、今までに学習した内容をどのように運用すべきか、解説していきます。全国平均プラス20点以上を目標に授業を行います。
	共通テスト数学IIBC (西根)	共通テストのお題目である「思考力・判断力・表現力」に即した問題演習を繰り返すことで、今までに学習した内容をどのように運用すべきか、解説していきます。全国平均プラス20点以上を目標に授業を行います。
	理系数学 (西根)	ニューグローバルトップを用いた復習を行うと同時に、高校で学習している内容(数学III)から置いてきぼりをされないよう、適宜4STEP、青チャートも活用しながら2次私大対策を視野に入れた授業を行います。
	スタンダード数学 (槌谷)	数学IAIIBCの範囲で弱点分野を全て(網羅的に)潰していきます。黄青赤チャートで類題を確認後最近の私立(日東駒専～マーチ、理科大レベル)と国立(宇大、茨大、埼大、新潟大、筑波、千葉、北大、東北レベル)の問題が解けるだけの知識の組み合わせ方、解くために気づくべき語句など基本から丁寧に説明していきます。
	受験物理・受験化学 (西根)	共通テストと2次試験の区別をすること無く、セミナー発展問題の深い理解を目標に進めていきます。もちろん9月以降は共通テスト対策に力点を置きますが、2月の2次試験への対策もぬかりなく行う予定です。